

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波による東北港湾への影響検証業務
業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・計画準備 ・資料収集整理 ・津波再現計算 ・津波予測計算 ・安定性の照査 ・津波浸水による影響度及び対策案の検討 ・有識者による妥当性確認 ・協議・報告 ・照査 ・成果物
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長 安部 賢 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
契 約 年 月 日	令和5年5月23日
契 約 業 者 名	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波による東北港湾への影響検証業務沿岸技術研究センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体 代表者 一般財団法人沿岸技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2
契 約 金 額	61,820,000 円(税込)
予 定 価 格	61,919,000 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和5年5月23日
履 行 期 間 (至)	令和6年3月15日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

随意契約理由書

1. 業務の名称 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波による東北港湾への影響検証業務
2. 契約業者名 沿岸技術研究センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体
3. 随意契約理由

日本海溝・千島海溝沿いにおいては巨大地震に伴う巨大津波の発生も想定されている。本業務は、津波の襲来が想定されている青森港、仙台塩釜港（仙台港区・石巻港区）、相馬港、小名浜港において、津波減衰効果が期待できる外郭施設の安定性の照査を行うものである。併せて、津波が想定されている東北管内の重要港湾以上の港湾における、人命、財産及び経済活動に重大な影響を及ぼすと推測される津波浸水区域の把握と被害軽減にむけた津波対策案を検討するものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容により評価を行った。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位である沿岸技術研究センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項に基づき、沿岸技術研究センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体と随意契約を行うものである。